



小 論 文

学 類	ペー ジ	解 答 用 紙 枚 数	時 間
人 間 発 達 文 化 学 類	1 ~ 7	1 枚	120 分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は7ページある。印刷不鮮明の箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答は指定の解答用紙に横書きで記入すること。
4. 解答用紙の指定欄には必ず受験番号を記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

人間発達文化学類

- (注意) ・解答は指定された解答欄に横書きで記入し、字数は指定を超えないこと。
- ・解答用紙は1行が20字、全部で1,200字となっている。
 - ・解答の際、句読点、引用符、カッコなどはいずれも1字に数える。ただし、行末の句読点などは字数に含まれないものとする。

次ページ以下の〈資料〉は、オリバー・パークマン著、高橋璃子訳『限りある時間の使い方』(かんき出版、2022年)の一部である(ただし、出題にあたり原文の一部を省略している)。

この文章を読んで、問1と問2に答えなさい。

問1 下線①時間の「道具化」について400字以内で説明しなさい。

問2 資料の内容を踏まえて、今を生きることについての著者の考えに対する自分の意見を800字以内で述べなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法等の問題から公表することができませんので
ご了承ください。

令和5年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 一般選抜 後期日程

人間発達文化学類の以下のアドミッション・ポリシーを踏まえつつ、資料を与え、1,200字程度で論述させることにより、受験者の読解力・理解力・思考力・表現力を総合的に判断する。

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

具体的には、オリバー・パークマン著、高橋璃子訳『限りある時間の使い方』（かんき出版、2022年）による資料を与え、人間発達を支援する際に必要な資質や適格性を総合的にみる。

問1では、資料を読み取り、端的に説明させることによって、受験者の読解力・理解力をみる。

問2では、今を生きることについての著者の見解を踏まえたうえで、受験者自身の考えを論述させることにより、論理的な思考力と文章表現力を総合的にみる。